

■フランス：供給先変更による電気代の節約は限定的

エネルギー規制委員会（CRE）は2016年10月13日、「フランスの電力／ガス小売市場実態調査報告書2015～2016年」を発表した。それによると、2015年に家庭用需要家がEDF以外の新規小売事業者を選択した場合、6件中5件において電気代が節約できたものの、節約額はわずかであった。CREは2015年1月初めから1年間、EDFの規制料金と新規小売事業者の固定型料金による電気代の違いを比較した。対象となったのは、契約容量9kVAの昼夜間別料金契約であり、年間電力消費量は8,500kWh（うち昼間の消費比率54%）と前提の下、比較が行われた。結果は、5社の料金の電気代が規制料金よりも年間で9～60ユーロ安くなった。ただ1社だけは逆に45ユーロほど割高となった。2015年は8月に規制料金が2.5%引き上げられており、その影響で値上げのなかった固定型料金は結果的に年初の想定よりも9ユーロ分節約額が増幅されることになった。期中の値上げ分を差し引いた場合、最安値の料金（Proxelia社 Domelia）を別として、残る4社の節約額は0～11ユーロ（うち2社は5ユーロ）と微々たるものに止まった。